

共に 「学び、思いやり、鍛え」 歩む

八代中学校「校長室だより」 No.6

校訓

自主 誠実 工夫

令和6年6月27日(木)

緑の街頭募金 ～ ご協力ありがとうございました ～

6月22日(土) 13:30～15:00、フジグラン北浜店入り口付近で、緑の街頭募金を行いました。コロナ禍でこの活動自体が中止されていたこともあり、八代中学校としては久しぶりの参加でした。5月にこの活動への協力依頼を受けて、3年生の田川さんと佐伯さんが立ち上がり、全校生徒に参加を呼び掛けました。その結果、1年生2名、2年生4名、3年生5名、教員2名、総勢13名が自主的に参加してくれました。大変うれしく思いました。

この「緑の街頭募金」で集まった募金は、私たちと大変関わりの深い国内外の緑化活動のために使われます。「緑の街頭募金」は、身近な地域や国内外の森づくりにつながり、さまざまな「森づくり・人づくり」活動の活性化に生かされています。また、災害で失われた自然の復活にも使われたりします。

地域の皆さんのお陰で、43,761円の募金を集めることができました。ありがとうございました。参加してくれた生徒たちは、自分が誰かのために役立ったという自己肯定感を得ることができた貴重な体験になりました。



性教育講座 ～ 命の大切さ 親への感謝 ～

6月26日(水)、3年生は、はらだ助産院の原田助産師さん、保健センターの二宮保健師さんによる性教育講座を受講しました。代表の2名が妊婦体験をさせていただきました。また、お母さんの体の中で、受精卵からどのようにして赤ちゃんの体が出来てくるのか、どのようにして生まれてくるのか、10代の望まない妊娠や中絶、性感染症、性の多様性などについて、説明していただきました。自分や相手の心と身体を大切に考え、行動しなければならないことを学びました。生徒の感想の一部を紹介します。



- 僕は妊婦さんの体験をした。腰の周りがとてもしんどいのと、椅子に座っていて立つときもしんどかった。お母さんはこんな苦勞をして僕を生んでくれたのだと知った。
- この講座で命の大切さが良く分かった。父や母も今では当たり前存在だけれど、自分のためにたくさんの苦勞をしてくれたんだろうなと思って、とてもお礼を言いたい。これまで大切に育ててくれたからこそ、軽はずみな行動をせず、誠実に生きていきたい。
- 今日の授業で性に対して見る目が変わった。僕は今まで、いやらしく、暗いイメージだったが、性に対することは、全然恥ずかしくなく、逆に真剣なことだということが分かった。
- 改めて命の誕生のすごさや大変さが分かった。大変な思いをして産んでくれて、今まで大切に育ててくれた両親に、もっと感謝の気持ちを持たなければと思った。(文責 河野 靖)